



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月16日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ 上場取引所 東
コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 半澤 勝己
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 家島 広行 TEL 03(5411)7222
定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 2024年9月11日
有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,877	△1.3	23	△57.5	26	△52.5	12	△47.4
2023年6月期	1,902	2.9	54	82.2	56	51.0	24	42.2

(注) 包括利益 2024年6月期 14百万円(△48.4%) 2023年6月期 28百万円(174.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	1.10	—	2.4	1.4	1.2
2023年6月期	2.09	—	4.8	3.1	2.9

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 ー百万円 2023年6月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	1,857	562	30.2	48.11
2023年6月期	1,841	516	27.9	44.74

(参考) 自己資本 2024年6月期 560百万円 2023年6月期 514百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	47	△46	△4	602
2023年6月期	73	6	△45	606

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年6月期	—	0.00	—	1.00	1.00	11	90.9	2.2
2025年6月期(予想)	—	—	—	0.50	0.50	—	38.8	—

3. 2025年6月期の連結業績予想 (2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,950	3.9	30	29.6	30	12.1	15	18.7	1.29

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年6月期	11,642,100株	2023年6月期	11,492,100株
2024年6月期	48株	2023年6月期	48株
2024年6月期	11,501,888株	2023年6月期	11,492,052株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	372	△24.1	△26	—	62	—	61	—
2023年6月期	490	△10.3	△83	—	△23	—	△161	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期	5.39	—
2023年6月期	△14.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	472	324	68.3	27.72
2023年6月期	594	275	45.9	23.76

(参考) 自己資本 2024年6月期 322百万円 2023年6月期 273百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(連結損益計算書)	8
(連結包括利益計算書)	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や雇用情勢が改善する中で、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、長引くロシア・ウクライナ情勢や中東地域を巡る地政学的リスクの高まり、円安の長期化、資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。また、消費環境におきましては、個人消費に持ち直しの動きが続いているものの、物価上昇を背景とした節約志向の高まりも見られております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は従前の状況まで回復しており、コロナ禍を経て顧客のニーズの多様化もあり顧客単価も上昇してきております。一方、業界全体として美容師をはじめとした人材の流動性が高まっており、優秀な人材確保がより重要な課題となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、経営基盤の基礎をしっかりと固めるべく、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。また、美容業界で上場する数少ない企業グループとして、そして、リーディングカンパニーとしてDX化・GX化を推進することで業界全体のプレゼンス向上に資する取り組みにも注力しております。

当連結会計年度の売上高につきましては、キャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったものの、BSサロン運営事業の減収を補うには至らず、また、直営サロン運営事業におきましても生産性は向上しましたが、直営サロンの減少が影響し、全社としても前年同期に比べ減収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりましたが、前年同期に比べ、売上原価が増加したこと、一時的な収益が減少したことに伴い、また、前述のとおり優秀な人材確保に向け、給与等も含めた就労環境の向上に係るコストが先行した結果、いずれも前年同期に比べ減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業利益及び経常利益の減益を受けた他、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、ヘアメイク事業に係る固定資産について減損損失3,526千円を特別損失として計上し、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,887,674千円（前年同期比1.3%減）、営業利益23,151千円（前年同期比57.5%減）、経常利益26,772千円（前年同期比52.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益12,632千円（前年同期比47.4%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン10店舗（モッズ・ヘアサロン9店舗、その他（美容室セラヴィ）1店舗）を展開しております。

当連結会計年度の業績につきましては、社会経済活動の正常化が進み、既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移しましたが、閉店店舗の減収分を補うには至らず、売上高は微減となりました。また、過年度の不採算店舗閉鎖の効果も相まってセグメント利益は前年同期に比べ増益となりました。また、美容業界での人材の流動性が高まっており、今後の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、一定のコストの先行は許容しつつ人材の確保並びに育成に引き続き注力しております。

当連結会計年度の直営サロン運営事業の業績は、売上高944,224千円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益70,496千円（前年同期比5.9%増）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当連結会計年度の店舗数の異動は、国内の新規出店2店舗、閉店1店舗、中国での新規出店1店舗、台湾での新規出店2店舗、韓国での閉店3店舗により、増加1店舗となりました。その結果、当連結会計年度末日現在におきまして、国内40店舗、韓国10店舗、台湾4店舗及び中国5店舗の計59店舗となっております。BSサロン運営事業においては、プライベートブランド（PB商品）をはじめとした商品販売に注力しており、PB商品売上は堅調に推移しているものの、前年同期に比べBSサロンの稼働店舗数が減少したことが影響し減収減益となりました。

当連結会計年度のBSサロン運営事業の業績は、売上高238,600千円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益82,540千円（前年同期比27.1%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

当連結会計年度の業績につきましては、スタジオ部門の業績は堅調に推移したものの、ブライダル部門及びメディア部門は前年同期に比べ減収となったこと及び売上原価の増加等の影響により、売上高361,454千円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益1,380千円（前年同期比58.9%減）となりました。

(美容室支援事業)

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、S C A T株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、S C A T株式会社をはじめ、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

当連結会計年度においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移しておりますが、手数料率の競争の激化に伴い、売上高は前年同期に比べ微減となりました。また、新たなBtoBクレジット決済サービス提供開始の準備など事業拡大に向けた人件費等のコストが先行した結果、売上高121,708千円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益66,744千円（前年同期比5.5%減）となりました。

(キャリアデザイン事業)

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当連結会計年度においては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

当連結会計年度の業績は、人材派遣事業は着実に成長しているものの、収益率の高い人材紹介売上が前年同期に比べ減少したことから、売上高294,908千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益16,765千円（前年同期比5.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15,413千円増加し、1,857,352千円となりました。主な要因としましては商品の増加8,593千円、有形固定資産の減少7,749千円、のれんの減少18,945千円、投資有価証券の増加33,596千円、繰延税金資産の減少8,679千円などによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ30,556千円減少し、1,295,259千円となりました。主な要因としましては、長期借入金の減少19,234千円、社債の減少16,000千円、未払金の増加34,111千円、未払法人税等の減少8,800千円、資産除去債務の減少19,110千円などによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ45,970千円増加し、562,092千円となりました。主な要因としましては、第三者割当による新株式発行に伴う資本金の増加15,600千円、資本剰余金の増加15,600千円、親会社株主に帰属する当期純利益12,632千円などによるものであります。

なお、2023年9月27日開催の第34回定時株主総会の決議に基づき、2023年11月10日で減資の効力が発生し、資本金の額317,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替え、資本準備金の額17,040千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。また、振替後のその他資本剰余金366,532千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。この結果、当連結会計年度末において資本金が215,600千円、資本剰余金が85,297千円、利益剰余金が253,670千円となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローがプラスとなる一方、投資活動によるキャッシュ・フロー及び財務活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなり、602,753千円（前連結会計年度比0.6%減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は47,240千円（前連結会計年度は獲得した資金73,740千円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益23,246千円、減価償却費14,535千円、のれん償却額15,418千円、棚卸資産の増加額8,629千円、未払金の増加13,306千円、法人税等の支払額22,427千円、法人税等の還付額17,671千円などによるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は46,726千円（前連結会計年度は獲得した資金6,788千円）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出30,680千円、差入保証金の回収による収入10,012千円、資産除去債務の履行による支出13,450千円などによるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は4,868千円（前連結会計年度は使用した資金45,959千円）となりました。これは主に株式の発行による収入31,200千円、社債の償還による支出16,000千円、長期借入金の返済による支出19,234千円などによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標等の推移

	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
自己資本比率（%）	28.5	26.9	27.9	30.2
時価ベースの自己資本比率（%）	140.5	112.0	136.6	132.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	3.1	8.2	2.4	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	53.9	12.3	36.8	26.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や雇用情勢が改善する中で、国内景気は緩やかな回復基調で推移する一方、長引くロシア・ウクライナ情勢や中東地域を巡る地政学的リスクの高まり、円安の長期化、資源価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。また、消費環境におきましては、個人消費に持ち直しの動きが続いているものの、物価上昇を背景とした節約志向の高まりも見られております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は従前の状況まで回復しており、コロナ禍を経て顧客のニーズの多様化もあり顧客単価も上昇してきております。一方、業界全体として美容師をはじめとした人材の流動性が高まっており、人材確保がより重要な課題となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、経営基盤の基礎をしっかりと固めるべく、既存事業においては経営効率の最適化を図り、安定したサービスの提供とともに、新たな収益の柱となる事業の創出に注力しております。また、美容業界で上場する数少ない企業グループとして、そして、リーディングカンパニーとしてDX化・GX化を推進することで業界全体のプレゼンス向上に資する取り組みにも注力しております。

後日、中期経営計画（第36期：2025年6月期～第38期：2027年6月期）の発表を予定しておりますが、当社設立40周年を迎える第41期（2030年6月期）に向けて、前半の2024年7月～2027年6月の3年間で「助走」、後半の2027年7月～2030年6月を「飛躍」と位置付け、当該中期経営計画の期間においては、人材育成をはじめ、経営基盤の基礎をしっかりと固めてまいります。

以上により、2025年6月期の通期連結業績の見通しにつきましては、売上高1,950百万円、営業利益30百万円、経常利益30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15百万円を見込んでおります。また、個別業績予想につきましては、当社グループが「モッズ・ヘア」を中心とした美容業に主軸を置いて事業展開を行っているため、重要性が高くないと判断し、記載を省略しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

日本の会計基準は、国際的な会計基準とのコンバージェンスを積み重ね、高品質かつ国際的に遜色ないものとなっており、欧州より国際会計基準と同等であるとの評価を受けていることから、当社グループは当面、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社グループは将来における中国をはじめとするアジアでの事業展開に伴う海外からの資金調達の可能性も考慮し、国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、導入に伴う影響度分析等の取り組みを検討しておりますが、現時点では検討段階であり国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,542	602,753
受取手形及び売掛金	115,206	119,536
商品	65,525	74,119
未収入金	766,890	770,007
その他	19,465	20,620
貸倒引当金	△1,075	△1,067
流動資産合計	1,572,554	1,585,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	234,406	215,393
減価償却累計額	△197,629	△185,039
建物及び構築物(純額)	36,776	30,353
工具、器具及び備品	65,789	58,717
減価償却累計額	△54,918	△48,044
工具、器具及び備品(純額)	10,870	10,673
その他	5,431	5,037
減価償却累計額	△4,165	△4,899
その他(純額)	1,266	137
有形固定資産合計	48,914	41,164
無形固定資産		
のれん	55,580	36,635
ソフトウェア仮勘定	5,504	-
その他	1,358	4,870
無形固定資産合計	62,443	41,505
投資その他の資産		
投資有価証券	42,984	76,580
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	11,932
差入保証金	91,989	91,091
繰延税金資産	10,570	1,890
その他	7,472	11,163
貸倒引当金	△36,205	△36,155
投資その他の資産合計	157,778	188,712
固定資産合計	269,135	271,382
繰延資産		
社債発行費	248	-
繰延資産合計	248	-
資産合計	1,841,939	1,857,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,540	13,706
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	16,000	-
1年内返済予定の長期借入金	19,879	15,051
未払金	883,830	917,941
未払法人税等	11,735	2,935
未払消費税等	28,847	24,798
契約負債	23,721	25,825
賞与引当金	2,181	1,872
株主優待引当金	17,093	13,203
その他	45,439	43,978
流動負債合計	1,158,269	1,159,313
固定負債		
長期借入金	41,878	27,471
受入保証金	55,500	56,500
資産除去債務	26,325	7,215
退職給付に係る負債	1,785	1,853
役員退職慰労引当金	14,800	15,199
その他	27,258	27,705
固定負債合計	167,547	135,946
負債合計	1,325,816	1,295,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	215,600
資本剰余金	119,189	85,297
利益剰余金	△125,493	253,670
自己株式	△13	△13
株主資本合計	510,722	554,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,421	5,559
その他の包括利益累計額合計	3,421	5,559
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	516,122	562,092
負債純資産合計	1,841,939	1,857,352

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,902,314	1,877,674
売上原価	1,341,771	1,352,029
売上総利益	560,542	525,644
販売費及び一般管理費	506,055	502,492
営業利益	54,487	23,151
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	724	890
助成金収入	61	2,868
為替差益	280	619
違約金収入	2,310	674
その他	1,326	586
営業外収益合計	4,709	5,644
営業外費用		
支払利息	2,005	1,757
社債発行費償却	372	248
その他	513	17
営業外費用合計	2,891	2,023
経常利益	56,304	26,772
特別損失		
投資有価証券評価損	1,511	-
店舗閉鎖損失	2,754	-
減損損失	9,859	3,526
特別損失合計	14,125	3,526
税金等調整前当期純利益	42,179	23,246
法人税、住民税及び事業税	26,510	1,933
法人税等調整額	△8,333	8,679
法人税等合計	18,176	10,613
当期純利益	24,002	12,632
親会社株主に帰属する当期純利益	24,002	12,632

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	24,002	12,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,646	2,137
その他の包括利益合計	4,646	2,137
包括利益	28,648	14,770
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,648	14,770
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	517,040	119,189	△149,496	△13	486,720	△1,224	△1,224	1,978	487,473
当期変動額									
親会社株主に帰属する 当期純利益			24,002		24,002				24,002
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						4,646	4,646	-	4,646
当期変動額合計	-	-	24,002	-	24,002	4,646	4,646	-	28,648
当期末残高	517,040	119,189	△125,493	△13	510,722	3,421	3,421	1,978	516,122

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	517,040	119,189	△125,493	△13	510,722	3,421	3,421	1,978	516,122
当期変動額									
減資	△317,040	317,040			-				-
欠損填補		△366,532	366,532		-				-
新株の発行	15,600	15,600			31,200				31,200
親会社株主に帰属する 当期純利益			12,632		12,632				12,632
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						2,137	2,137		2,137
当期変動額合計	△301,440	△33,892	379,164	-	43,832	2,137	2,137	-	45,970
当期末残高	215,600	85,297	253,670	△13	554,554	5,559	5,559	1,978	562,092

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	42,179	23,246
減価償却費	13,790	14,535
減損損失	9,859	3,526
のれん償却額	15,418	15,418
店舗閉鎖損失	2,754	-
助成金収入	△61	△2,868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△815	△58
契約負債の増減額 (△は減少)	1,121	2,104
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	6,474	△3,890
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,600	399
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△338	68
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45	△309
受取利息及び受取配当金	△730	△896
支払利息	2,005	1,757
受入保証金の増減額 (△は減少)	△5,500	1,000
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,511	-
売上債権の増減額 (△は増加)	244	△2,157
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,043	△8,629
仕入債務の増減額 (△は減少)	△305	4,166
未払消費税等の増減額 (△は減少)	913	△4,048
リース投資資産の増減額 (△は増加)	6,679	-
未払費用の増減額 (△は減少)	1,781	△413
差入保証金の増減額 (△は増加)	△1,600	897
未払金の増減額 (△は減少)	5,143	13,306
未収入金の増減額 (△は増加)	575	△98
預り金の増減額 (△は減少)	1,004	255
その他	△6,434	△7,300
小計	103,360	50,012
利息及び配当金の受取額	730	896
利息の支払額	△1,952	△1,780
法人税等の支払額	△32,010	△22,427
法人税等の還付額	3,550	17,671
助成金の受取額	61	2,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,740	47,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,936	△4,455
無形固定資産の取得による支出	△5,504	-
長期前払費用の取得による支出	-	△4,980
資産除去債務の履行による支出	-	△13,450
差入保証金の回収による収入	14,435	10,012
差入保証金の差入による支出	△205	-
投資有価証券の取得による支出	-	△30,680
関係会社株式の取得による支出	-	△3,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,788	△46,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△14,000	△16,000
株式の発行による収入	-	31,200
長期借入金の返済による支出	△30,847	△19,234
リース債務の返済による支出	△1,111	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,959	△4,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	239	565
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,807	△3,788
現金及び現金同等物の期首残高	571,734	606,542
現金及び現金同等物の期末残高	606,542	602,753

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とする財務情報に基づき、事業種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業の種類に基づき、「直営サロン運営事業」、「BSサロン運営事業」、「ヘアメイク事業」、「美容室支援事業」、「キャリアデザイン事業」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高はあらかじめ定めた合理的な価額に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室 支援事業	キャリアデザ イン事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	940,061	196,331	370,978	120,086	274,856	1,902,314	—	1,902,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,000	72,353	—	2,388	—	86,741	△86,741	—
計	952,061	268,685	370,978	122,474	274,856	1,989,056	△86,741	1,902,314
セグメント利益	66,575	113,197	3,360	70,618	17,802	271,554	△217,067	54,487
セグメント資産	272,272	271,671	175,153	1,055,791	146,606	1,921,495	△79,556	1,841,939
その他項目								
減価償却費	11,534	91	441	400	179	12,647	1,143	13,790
のれん償却額	—	—	12,317	—	3,101	15,418	—	15,418
減損損失	5,381	4,477	—	—	—	9,859	—	9,859
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	—	4,791	—	—	—	4,791	7,127	11,918

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△217,067千円には、棚卸資産の調整額7千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△217,074千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに属しない全社の一般経費であります。

(2) セグメント資産の調整額△79,556千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産289,614千円、その他の調整△369,170千円が含まれております。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室 支援事業	キャリアデザ イン事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	932,224	171,365	359,990	119,185	294,908	1,877,674	-	1,877,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,000	67,235	1,463	2,523	-	83,222	△83,222	-
計	944,224	238,600	361,454	121,708	294,908	1,960,896	△83,222	1,877,674
セグメント利益	70,496	82,540	1,380	66,744	16,765	237,927	△214,775	23,151
セグメント資産	190,390	113,082	150,891	1,066,694	131,893	1,652,952	204,399	1,857,352
その他項目								
減価償却費	11,758	111	217	400	135	12,622	1,912	14,535
のれん償却額	-	-	12,317	-	3,101	15,418	-	15,418
減損損失	-	-	3,526	-	-	3,526	-	3,526
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,145	-	310	-	-	4,455	5,004	9,460

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△214,775千円には、棚卸資産の調整額27千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△214,803千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに属しない全社の一般経費であります。

(2) セグメント資産の調整額204,398千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産532,572千円、その他の調整△328,173千円が含まれております。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室 支援事業	キャリアデ ザイン事業	計		
当期末残高	—	—	33,872	—	21,707	55,580	—	55,580

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室 支援事業	キャリアデ ザイン事業	計		
当期末残高	—	—	18,028	—	18,606	36,635	—	36,635

(注) のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
1株当たり純資産額	44円74銭	1株当たり純資産額	48円11銭
1株当たり当期純利益	2円09銭	1株当たり当期純利益	1円10銭

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化が生じていないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	24,002	12,632
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	24,002	12,632
普通株式の期中平均株式数(株)	11,492,052	11,501,888
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権 新株予約権の数 430個 普通株式数 43,000株	第1回新株予約権 新株予約権の数 430個 普通株式数 43,000株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。